

三陸の自然と共に生きる里づくり

趣旨

3月11日に発生した東日本大震災から半年以上が経過しました。

この三陸地域の復興を、海外諸国の人々がみつめています。私たちは、三陸被災地が、単なる現状復旧ではない、未来を指向した地域社会実現のための復興を目指すべきではないかと考えます。そのために、世界中の叡智を集結させる必要があります。

そこで、三陸被災地が「持続可能な自然と共存する里」として復興するために、国内外の実践者・研究者をお招きし「三陸エコビジョンフォーラム」を開催します。

映画「幸せの経済学」あらすじ

「本当の豊かさとは何か？答えはローカリゼーションにある。」

監督のヘレナ・ノーバグ・ホッジさんは、その解決の糸口として「グローバリゼーション」と対局にある「ローカリゼーション」を提案していきます。地域の力を取り戻すローカリゼーションの促進が、切り離されてしまった人と人、人と自然とのつながりを取り戻し、地域社会の絆を強めていく、と語ります。実際に世界では、「本当の豊かさ」を求め、持続可能で自立した暮らしを目指すコミュニティの構築が広がっています。

行き過ぎたグローバル経済から脱却し、持続可能で幸せな暮らしをどう作っていくべきなのか。そのヒントは日本の伝統文化の中にもあるのではないのでしょうか。彼女はその気づきを我々に与えてくれるでしょう。

講師プロフィール



首藤 伸夫氏
東北大学名誉教授

津波研究の第一人者と言われる世界的権威。主に、歴史、過去の文献や風俗画の研究に携わる。また、作り上げた数式は世界各国で津波予測に使われている。日本土木学会論文賞、米国土木学会国際海岸工学賞を受賞。
著書●津波の辞典(朝倉書店 編集)
●大地が震え海が怒る―自然災害はなくなるか(テクノライフ選書 共著)など



勝川 俊雄氏
三重大学
生物資源学部准教授

専門は水産資源管理と資源解析。資源管理によって、日本の漁業を持続的な産業に再生するための社会活動を行っている。世界中の漁業の現場を周り、各国の資源管理に精通している。国内きっての漁業改革派の論客。
日本水産学会論文賞、日本水産学会奨励賞を受賞。著書●魚のいない海(NTT出版 監訳) ●日本の魚は大丈夫か―漁業は三陸から生まれ変わる(NHK出版新書) ●レジームシフト(共著) など



糸長 浩司氏
日本大学
生物資源科学部教授

専門分野は、都市計画・農村計画・地域環境計画、景観計画、集落計画、グリーンツーリズム、住民参画の計画づくり手法の開発、農村地域における土地利用計画。今回の原発事故後すぐに放射能の専門家と「飯館村後方支援チーム」を組織。放射能汚染情報発信や子ども達のサマーキャンプなどを実施。村民有志による「負けねど飯館」と協働した支援活動を実施。著書●地域のデザイン(明文書房) ●景観づくりをわづらう(ぎょうせい) など



リム キョンス氏
韓国パーマカルチャー
センター代表

社会貢献型企業「E-jang」の創設者であり、最高経営責任者。地方自治体からコミュニティづくりに関するコンサルティング依頼を多く受けている。エコビレッジ事例「ムンダン村」にて、学校・農場・カフェ・コブ・信用金庫・擁護施設などを巻き込んだコミュニティ開発事業を手がける。「実体験なしに真のコンサルティングはできない」との考えから、現在社員と共にエコビレッジへの移住を計画。



豊重 哲郎氏
柳谷(やねだん)
自治公民館長

村づくりの達人として、行政に頼り過ぎない「むら」おこし実践家。独自の商品開発、国際交流、やさしい環境整備、青少年育成、お年寄りの知恵の活用など、様々な活動で地域づくりを行う。自分たちの周りの問題を自分たちで解決していくことで、暮らしが良くなり、利益も生まれ、感動を生み、次の活動へとつながる。集落の宝は人。人を動かすのは感動。という取り組みが高く評価されている。日本計画行政学会最優秀賞、農水省地域再生特別賞受賞。



結城 登美雄氏
民俗研究家

北と南、海と里の産物の物々交換や縁故生産方式の実践など、東京に頼らない地域のあり方をめざし、人と人、地域と地域を結ぼうと全国に活動を広げている。「地元学」の提唱や「食の文化祭」などさまざまな地域づくりの活動に対し、98年「NHK東北ふるさと賞」2005年文部科学省「芸術選奨芸術振興部門」賞受賞。著書●山に暮らす海に生きる―東北むら紀行(無明舎出版) ●東北を歩く―小さな村の希望を旅する(新宿書房) など

三陸エコビジョンフォーラム実行委員会参加団体(50音順)

岩手いい川づくり研究会 岩手県自然保護団体協議会 岩手・木質バイオマス研究会 NPO法人環境パートナーシップいわて NPO法人わが流域環境ネット EPO東北 カタクリの会 自然環境復元学会 自然農園ウレシバモシリ NPO法人遠野まごころネット(社)東北地域環境計画研究会 JANIC 認定NPO法人自然環境復元協会 花巻のブナの原生林に守られる市民の会 早池峰の自然を考える会 Moonbow ゆいっこ花巻支部

三陸の自然と共に生きる里づくり

入場無料

12/10(土) 10:00~17:30

シンポジウム

遠野市民センター大ホール

12/11(日) 10:00~15:30

分科会

あえりあ遠野交流ホール 他
・映画のみ託児あり(要申込12月7日迄)

午前の部

10:00~12:00

●リレートーク

「震災を超えて海との共存を描く」

首藤伸夫氏[津波研究]

勝川俊雄氏[持続可能な漁業]

午後の部

13:00~17:30

●リレートーク

「未来につながる里作り」

糸長浩司氏[まちづくり]

リムキョンス氏[農村再生]

●被災地からの活動報告

①吉里吉里・復活の新 芳賀正彦氏

②共存の森聞き描き 吉野奈保子氏

③まごころの郷づくり 伊勢崎克彦氏

●パネルディスカッション

「持続可能な三陸の復興ビジョン」

由井正敏氏(岩手県立大学名誉教授)

リムキョンス氏(韓国パーマカルチャーセンター代表)

糸長浩司氏(日本大学教授・世界のエコヴィレッジ研究)

豊重哲郎氏(柳谷(やねだん)自治公民館長)

勝川俊雄氏(三重大学水産資源学部准教授)

碓川豊氏(大槌町長)

●交流会 18:00~

会場:あえりあ遠野 会費3000円

※申込要12月7日迄

午前の部

10:00~12:00

●映画上映「幸せの経済学」

●特別講演

「小さなムラから学ぶ

〜持続可能な三陸のまち作り〜

結城登美雄氏(民俗研究家)

午後の部

13:00~15:30

●分科会

・第1分科会

「持続可能な暮らし」

結城登美雄(民俗研究家)

吉野奈保子(共存の森ネットワーク)

伊勢崎克彦(まごころの郷づくり)

・第2分科会

「持続可能なまちづくり」

リムキョンス(韓国パーマカルチャーセンター代表)

糸長浩司(日本大学教授・世界のエコヴィレッジ研究)

芳賀正彦(吉里吉里・復活の新)

・第3分科会

「持続可能な産業」

勝川俊雄(三重大学水産資源学部准教授)

佐々木明宏(環境パートナーシップいわて)

田村満(懐かしい未来創造(株))

●全体会:まとめ

無料送迎バス(申込要12月7日迄)※復路はフォーラム終了後この逆順となります。

1号車「陸前高田コース」往路

8:00 モビリアセンターハウス前

8:10 米崎町コミセン

8:20 サンビレッジ駐車場

8:30 高田市役所バス停

8:35 竹駒ほっかほっか亭駐車場

8:45 横田川の駅駐車場

9:45 遠野市民センター

2号車「大船渡コース」往路

8:00 大船渡末崎中学校前

8:25 リアスホール駐車場

8:35 盛駅前

8:45 猪川町長洞仮設団地バス停

9:15 住田町中上仮設団地前

9:45 遠野市民センター

3号車「大槌～釜石コース」往路

8:00 吉里吉里中学校前

8:10 大槌役場前バス停

8:25 鶴住居バス停

8:40 釜石駅前

8:55 甲子中学校前バス停

9:45 遠野市民センター

お問合せ・申し込み

NPO法人遠野まごころネット
(エコビジョンフォーラム事務局)

TEL&FAX 0198-64-2250(千葉)

E-mail green-eco@isop.ne.jp

この事業は三井物産環境基金の助成をうけて開催します

主催:三陸エコビジョンフォーラム実行委員会 共催(予定):遠野市

後援(予定):岩手県 釜石市 岩泉町 気仙沼市 久慈市 宮古市 大船渡市 大槌町 田野畑村 普代村 野田村 洋野町 陸前高田市 山田町 いわて生活協同組合 岩手日報社 朝日新聞盛岡総局 読売新聞盛岡支局 毎日新聞盛岡支局 日本経済新聞社盛岡支局 河北新報社盛岡総局 盛岡タイムス社 東海新報社 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ NHK盛岡放送局 エフエム岩手